



# Cisco Unified CallManager Auto-Register Phone Tool の使用方法

Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool (TAPS) を使用すると、電話機ユーザが Unified CM Auto-Register Phone Tool 電話番号をコールして、ユーザの電話番号に関して事前に設定した電話機設定をダウンロードできます。Unified CM Auto-Register Phone Tool は、Cisco Unified CallManager の管理機能と連動して次の機能を提供します。

Unified CM Auto-Register Phone Tool の設定：自動登録機能を使用するすべての電話機について Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用できるようにしたり、ダミー MAC アドレスを持つ、BAT を使用して追加される電話機にだけ Unified CM Auto-Register Phone Tool を限定したりできます。詳細については、[P.52-9 の「Unified CM Auto-Register Phone Tool の自動登録オプションの設定」](#)を参照してください。

Unified CM Auto-Register Phone Tool の保護：一部の電話番号を Unified CM Auto-Register Phone Tool でアップデートできないように保護できます。詳細については、[P.52-10 の「電話番号の保護の設定」](#)を参照してください。

Unified CM Auto-Register Phone Tool のユーザ ロケール：Unified CM Auto-Register Phone Tool プロンプトの言語を選択できます。詳細については、[P.53-2 の「Unified CM Auto-Register Phone Tool のユーザ ロケールの設定」](#)を参照してください。

次のトピックでは、Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用方法、インストール方法、および設定方法について説明しています。

- [Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool の概要 \(P.52-2\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool のインストール \(P.52-5\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool のアンインストール \(P.52-6\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスのアクティブ化 \(P.52-7\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool の起動 / 停止 / 再起動 \(P.52-8\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool のオプションの設定 \(P.52-8\)](#)
- [電話番号の保護の設定 \(P.52-10\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool ログ ファイルの表示 \(P.52-12\)](#)
- [エンドユーザ用の Unified CM Auto-Register Phone Tool 情報 \(P.53-3\)](#)

## Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool の概要

Unified CM Auto-Register Phone Tool のコンポーネントは、Cisco Unified CallManager のインストールの一部として Cisco Unified CallManager の最初のノードにインストールされます。Unified CM Auto-Register Phone Tool が動作するためには、Cisco Unified CallManager Serviceability で、自動登録機能を使用可能にする必要があります。



(注)

Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、Cisco Unified CallManager 上の自動登録範囲は減少します。Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して更新したら、電話機の自動登録済み電話番号 (DN) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に変更して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

Unified CM Auto-Register Phone Tool アプリケーションは、Cisco Customer Response Solution (Cisco CRS) サーバにインストールする必要があります。Unified CM Auto-Register Phone Tool には、ユーザ インターフェイスおよびプロンプトについて Cisco CRS サーバ上で稼働する Cisco IP Interactive Voice Response (IP IVR) アプリケーションが必要です。

管理者は、新規電話機を設定するための Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用方法について、エンド ユーザに手順を示す必要があります。エンド ユーザの手順については、[P.53-3 の「エンド ユーザ用の Unified CM Auto-Register Phone Tool 情報」](#)を参照してください。



(注)

Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して電話機を Cisco Unified CallManager データベースに追加しないときは、Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスを停止することをお勧めします。

### その他の項目

詳細については、[P.52-12 の「関連項目」](#)を参照してください。

## Unified CM Auto-Register Phone Tool の自動登録オプション

Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して自動登録電話機を更新するためには、次のオプションを設定できます。

- MAC アドレスを更新し、事前定義済みの新しい電話機用の設定をダウンロードする。
- 既存の電話機と交換した新しい電話機に設定をリロードする。

以下の項目を参照してください。

- [新しい電話機での Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用方法 \(P.52-3\)](#)
- [設定をリロードするための Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用方法 \(P.52-3\)](#)

## 新しい電話機での Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用方法

ダミー MAC アドレスを持つ新しい電話機設定が Cisco Unified CallManager の管理機能に追加されると、電話機をネットワークに接続できます。システム管理者または電話機のユーザが、Unified CM Auto-Register Phone Tool 電話番号をダイヤルすると、電話機にその設定がダウンロードされます。同時に、その電話機の情報も、正しい MAC アドレスを使用して、Cisco Unified CallManager の管理ページ内で更新されます。Unified CM Auto-Register Phone Tool が正しく動作するためには、Cisco Unified CallManager の管理ページで、自動登録機能が使用可能になっていることを確認する必要があります。



(注)

Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、Cisco Unified CallManager 上の自動登録範囲は減少します。Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して更新したら、電話機の自動登録済み電話番号 (DN) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に変更して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

### 例

100 名の新入社員が月曜日に入社するとします。前の週末にはこれらのユーザとその新しい電話機を Cisco Unified CallManager の管理機能に追加する必要があります。BAT を使用すると、その 100 台の電話機の電話機テンプレート、および電話機とユーザ用の CSV データ ファイルを作成できます。CSV データ ファイルでダミー MAC アドレス オプションを使用すると、新しい電話機に個々に MAC アドレスを追加する必要がありません。自動登録機能が Cisco Unified CallManager で有効になっていると、電話機をネットワークに直接接続できます。システム管理者または新入社員は、Unified CM Auto-Register Phone Tool 電話番号をダイヤルし、ボイス プロンプトの指示に従って設定をロードできます。

## 設定をリロードするための Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用方法

機能していない既存の電話機を交換する必要がある場合、Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して既存の電話機設定を新しい電話機にダウンロードできます。ユーザは新しい電話機を受け取ってネットワークに接続すると、Unified CM Auto-Register Phone Tool 電話番号をダイヤルして以前の電話機の設定をダウンロードできます。この処理中、ユーザは設定を変更できません。

Cisco Unified CallManager の管理ページで、自動登録機能を有効にする必要があります。すべての電話機に対して Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用するよう設定して、ユーザが既存の電話機設定をダウンロードできるようにする必要があります。詳細については、P.52-9 の「Unified CM Auto-Register Phone Tool の自動登録オプションの設定」を参照してください。



(注)

Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、Cisco Unified CallManager 上の自動登録範囲は減少します。Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して更新したら、電話機の自動登録済み電話番号 (DN) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に変更して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

**例**

John の Cisco Unified IP Phone モデル 7940 に、雷雨で回路短絡が発生したとします。彼は、新しい Cisco Unified IP Phone モデル 7940 を受け取り、ネットワークに接続します。John が Unified CM Auto-Register Phone Tool 電話番号をダイヤルすると、損傷した電話機で以前に使用していた設定が新しい電話機にダウンロードされます。Unified CM Auto-Register Phone Tool により、Cisco Unified CallManager の管理ページ内のデバイス情報が自動的に更新されます。

**その他の項目**

詳細については、[P.52-12 の「関連項目」](#)を参照してください。

**電話番号の保護**

Unified CM Auto-Register Phone Tool では電話番号を置き換えることができるため、管理者は特定の電話番号が上書きされないように保護できます。重要な電話番号を保護するには、Unified CM Auto-Register Phone Tool の保護オプションを使用します。詳細については、[P.52-10 の「電話番号の保護の設定」](#)を参照してください。

**例**

電話番号 5000 には、システム用のボイスメッセージアクセスが用意されています。このような場合、新しいユーザが誤って新しい電話機上で 5000 を設定しないようにします。Unified CM Auto-Register Phone Tool の保護オプションを使用すると、Unified CM Auto-Register Phone Tool が電話番号「5000」にアクセスできないように指定できます。

**その他の項目**

詳細については、[P.52-12 の「関連項目」](#)を参照してください。

**Unified CM Auto-Register Phone Tool ユーザ用の言語プロンプト**

Unified CM Auto-Register Phone Tool のユーザプロンプトを複数の言語で再生できるように設定できます。管理者は、ユーザが使用できる言語を選択できます。詳細については、[P.53-2 の「Unified CM Auto-Register Phone Tool のユーザ ロケールの設定」](#)を参照してください。

英語以外の言語プロンプトを使用する必要がある場合は、クラスタ内の各 Cisco Unified CallManager および Cisco CRS サーバに Cisco Unified CallManager Locale Installer がインストールされていることを確認してから、Unified CM Auto-Register Phone Tool をインストール、アップグレード、または設定します。Locale Installer を使用すると、最新の翻訳済みテキスト、翻訳済みボイス プロンプト、各国 / 地域固有の電話トーン、および各国 / 地域固有のゲートウェイ トーンを電話機で利用できます。Cisco Unified CallManager Locale Installer の詳細については、それぞれの Locale Installer のマニュアルを参照してください。

**その他の項目**

詳細については、[P.52-12 の「関連項目」](#)を参照してください。

## Unified CM Auto-Register Phone Tool のインストール

この項では、Unified CM Auto-Register Phone Tool のインストール、再インストール、およびアンインストールについて説明しています。Unified CM Auto-Register Phone Tool は、Cisco Unified CallManager サーバと Cisco Customer Response Solution (CRS) 4.5 サーバの両方とインターフェイスをとります。このインストール手順では、Unified CM Auto-Register Phone Tool を CRS サーバにインストールします。

Windows Terminal Services を使用して Unified CM Auto-Register Phone Tool をインストールすることはできません。Unified CM Auto-Register Phone Tool を Cisco Unified CallManager の最初のノードサーバおよび Cisco CRS サーバから直接インストールする必要があります。

### 始める前に

BAT Release 5.2(1) 用の Unified CM Auto-Register Phone Tool をインストールするには、次の前提条件が必要です。

- Cisco Unified CallManager の最初のノードデータベースが設定され、実行されている。
- Cisco Unified CallManager の最初のノードサーバの IP アドレスがわかっている。
- Cisco CRS サーバが設定されている。Cisco CRS 4.5 アプリケーションを独自の専用サーバ上に配置できる。
- 各国 / 地域に合わせて Unified CM Auto-Register Phone Tool プロンプトを作成する場合は、必ず Locale Installer を使用する。

Unified CM Auto-Register Phone Tool を CRS アプリケーションサーバにインストールする手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** 管理者特権を使用して、Cisco Unified CallManager の最初のノード データベースを実行しているシステムにログオンします。
- ステップ 2** [アプリケーション] > [プラグイン] の順に選択します。[プラグインの検索と一覧表示 (Find and List Plugins)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** Cisco TAPS for Windows を検索し、[ダウンロード] をクリックして、CRS アプリケーションサーバがインストールされている Windows サーバにプラグインを保存します。
- ステップ 4** インストール ウィザードの Welcome ウィンドウが開きます。このインストール プログラムでは、Unified CM Auto-Register Phone Tool が CRS アプリケーションサーバにインストールされます。[次へ] をクリックします。



(注) 専用 CRS サーバが接続されたネットワークで Unified CM Auto-Register Phone Tool をインストールする場合は、CRS サーバで Unified CM Auto-Register Phone Tool インストール プログラムを再実行する必要があります。インストールおよび設定の詳細については、CRS オンラインヘルプを参照してください。

- ステップ 5** IP アドレス フィールドに CRS アプリケーション サーバの IP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。
- ステップ 6** Unified CM Auto-Register Phone Tool on Apps Server のインストール ウィンドウに進行状況バーが表示されて、インストールの状況を示します。[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

- ステップ 7** インストールが終了すると、インストール完了ウィンドウが表示されます。[終了] をクリックします。

---

#### その他の項目

詳細については、P.52-12 の「関連項目」を参照してください。

## CRS アプリケーションサーバでの Unified CM Auto-Register Phone Tool アプリケーションの設定

Cisco CRS 4.5 アプリケーションサーバのマニュアルを参照するには、<http://www.cisco.com> の Cisco Voice Applications and Tools にアクセスしてください。アプリケーションの設定方法については、『Cisco Customer Response Administration Guide』を参照してください。

#### その他の項目

詳細については、P.52-12 の「関連項目」を参照してください。

## Unified CM Auto-Register Phone Tool のアンインストール

このアンインストール プログラムでは、Unified CM Auto-Register Phone Tool アプリケーションが Cisco CRS サーバから削除されます。

[コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を使用して Unified CM Auto-Register Phone Tool をアンインストールする手順は、次のとおりです。

#### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco CRS サーバで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [アプリケーションの追加と削除] の順に選択します。
- ステップ 2** Unified CM Auto-Register Phone Tool を選択し、[変更] または [削除] ボタンをクリックします。アンインストール操作を確認するメッセージが表示されます。
- ステップ 3** Unified CM Auto-Register Phone Tool をアンインストールするには、[はい] をクリックします。取り消すには [いいえ] をクリックします。[はい] をクリックした場合、Unified CM Auto-Register Phone Tool アプリケーションは Cisco CRS サーバからアンインストールされます。
- ステップ 4** [OK] をクリックして、アンインストールを終了します。
- 

#### その他の項目

詳細については、P.52-12 の「関連項目」を参照してください。

## Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスのアクティブ化

Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスは、Cisco Unified CallManager Serviceability を使用してアクティブ化および非アクティブ化できます。それにはまず、適切な URL を使用してこのページにアクセスします。サービスをアクティブ化する手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** Cisco Unified CallManager Serviceability にアクセスします。

**ステップ 2** [Tools] > [Service Activation] の順に選択します。

[Service Activation] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** ドロップダウン リスト ボックスから、適切なサーバを選択します。[次へ] をクリックします。

**ステップ 4** Unified CM Services リストの [Database and Admin Services] から [Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool Service] を選択し、[Save] をクリックします。



**(注)** サービスがすでにアクティブ化されている場合は、[Activation Status] に [Activated] と表示されます。

---

**ステップ 5** サービスが有効になり、[Activation Status] カラムに [Activated] と表示されます。

---

## Unified CM Auto-Register Phone Tool の起動 / 停止 / 再起動

Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスは、Cisco Unified CallManager Serviceability を使用してアクティブ化されると、自動的に起動します。この項では、Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスを停止またはリスタートする手順を説明します。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CallManager Serviceability] で、[Tools] > [Control Center - Feature Services] の順に選択します。

[Control Center - Feature Services] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [Servers] ドロップダウンリストボックスから、Cisco Unified CallManager サーバを選択します。

Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool Service が Unified CM Services の [Database and Admin Services] カラムの下のリストに表示されます。



(注) Unified CM Auto-Register Phone Tool が P.52-7 の「Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスのアクティブ化」の手順でアクティブ化されている場合、[Status] に [Activated] と表示されます。

**ステップ 3** Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool Service に対応するチェックボックスをオンにします。

**ステップ 4** Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスを再起動する場合は、[Restart] をクリックします。

サービスが再起動し、「Service Successfully Restarted」というメッセージが表示されます。

**ステップ 5** Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスを停止する場合は、[Stop] をクリックします。

サービスが停止し、「Service Successfully Stopped」というメッセージが表示されます。

**ステップ 6** 停止している Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスを起動する場合は、[Start] をクリックします。

サービスが起動し、「Service Successfully Started」というメッセージが表示されます。

## Unified CM Auto-Register Phone Tool のオプションの設定

管理者は、Cisco Unified CallManager システムでの Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用方法を選択できます。次に示す Unified CM Auto-Register Phone Tool 機能オプションによって、電話機の更新や電話機プロファイルのダウンロードをユーザがより柔軟に行えるようになります。Unified CM Auto-Register Phone Tool のオプションには、次のものがあります。

- Unified CM Auto-Register Phone Tool の自動登録オプションの設定 (P.52-9)
- 電話番号の保護の設定 (P.52-10)
- Unified CM Auto-Register Phone Tool のユーザ ロケールの設定 (P.53-2)



## Unified CM Auto-Register Phone Tool の自動登録オプションの設定

Unified CM Auto-Register Phone Tool の設定オプションを使用すると、Cisco Unified CallManager データベースに自動登録する電話機を Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して更新できます。次の 2 つの方法が用意されています。

- BAT を使用して追加され、ダミー MAC アドレスを持つ電話機用
- Cisco Unified CallManager の管理機能の既存の電話機用

デフォルトの設定では、Unified CM Auto-Register Phone Tool の使用はプレフィックス「BAT」で始まるデバイス名で、ダミー MAC アドレスを持つ電話機に限定しています。

Unified CM Auto-Register Phone Tool の設定オプションを使用して、標準 MAC アドレスを持つ電話機などの、すべての電話機を Cisco Unified CallManager システムに自動登録できます。



(注)

Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、Cisco Unified CallManager 上の自動登録範囲は減少します。Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して更新したら、電話機の自動登録済み電話番号 (DN) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に変更して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

Unified CM Auto-Register Phone Tool の設定オプションを設定する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CallManager の管理] ウィンドウで、[システム] > [サービスパラメータ] の順に選択します。[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [サーバ (Server)] ドロップダウン リストボックスから、適切なサーバを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リストから [Cisco TAPS Service] を選択します。
- ステップ 4** [パラメータ値 (Parameter Value)] ドロップダウン リストボックスで、次の 2 つのオプションのいずれかを選択します。
  - [Allow Auto-Registered phones to reset with a profile with a dummy MAC address]  
Unified CM Auto-Register Phone Tool は、ダミー MAC アドレスがあるプロファイルを持つ自動登録済み電話機だけを更新します。
  - [Allow Auto-Registered phones to reset with any profile]  
Unified CM Auto-Register Phone Tool は、プロファイルにかかわらず、自動登録済み電話機を更新します。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。ステータス メッセージで更新の完了が示されます。
- ステップ 6** [Unified CM Auto-Register Phone Tool Options] ウィンドウに戻るには、[戻る] をクリックします。

### その他の項目

詳細については、P.52-12 の「関連項目」を参照してください。

## 電話番号の保護の設定

Unified CM Auto-Register Phone Tool の保護オプションを使用すると、Unified CM Auto-Register Phone Tool でアクセスできない電話番号を指定できます。この機能は、電話番号が誤って別の電話機に割り当てられないように保護する場合に使用します。



(注)

Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、Cisco Unified CallManager 上の自動登録範囲は減少します。Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用して更新したら、電話機の自動登録済み電話番号 (DN) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に変更して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

制限された電話番号を表示したり、制限された電話番号をさらに追加したりする場合は、以下の項を参照してください。

- [電話番号の保護の検索 \(P.52-10\)](#)
- [電話番号の制限 \(P.52-10\)](#)
- [電話番号に対する制限の解除 \(P.52-11\)](#)

## 電話番号の保護の検索

制限された電話番号を検索し、一覧表示する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** **[Bulk Administration] > [TAPS] > [セキュア TAPS]** の順に選択します。[セキュア電話番号 (Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、**[検索]** をクリックします。制限された電話番号のリストが表示されます。
- ステップ 3** 電話番号をさらに制限する場合は、[P.52-10](#) の「[電話番号の制限](#)」を参照してください。電話番号の制限を解除する場合は、[P.52-11](#) の「[電話番号に対する制限の解除](#)」を参照してください。

### その他の項目

詳細については、[P.52-12](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 電話番号の制限

Unified CM Auto-Register Phone Tool で使用できないように電話番号を指定する手順は、次のとおりです。Unified CM Auto-Register Phone Tool は、保護対象の電話番号のリストに含まれる電話番号を使用できません。

### 手順

- ステップ 1** **[Bulk Administration] > [TAPS] > [セキュア TAPS]** の順に選択します。[セキュア電話番号 (Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** [新規追加] をクリックします。[セキュア電話番号 (Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [電話番号 (Directory Numbers)] フィールドに、Unified CM Auto-Register Phone Tool から保護する電話番号を入力します。複数の電話番号を入力するには、電話番号のエントリごとに 1 回線を使用してください。
- ステップ 4** [保存] をクリックします。
- ステップ 5** [セキュア電話番号 (Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウに戻るには、ウィンドウの右上隅にある [関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスから [検索/リストに戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

Unified CM Auto-Register Phone Tool は、このリストに示されている電話番号を使用できません。ユーザが、このリスト内の電話番号のいずれかを入力して、デバイス プロファイルの更新を試みると、Unified CM Auto-Register Phone Tool は、その要求を拒否します。

#### その他の項目

詳細については、[P.52-12](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 電話番号に対する制限の解除

Unified CM Auto-Register Phone Tool で使用できない電話番号のリストから、電話番号を削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** [Bulk Administration] > [TAPS] > [セキュア TAPS] の順に選択します。[セキュア電話番号 (Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 削除する電話番号を検索する場合は、[P.52-10](#) の「[電話番号の保護の検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** 保護された電話番号のリストから削除する電話番号を選択し、[削除] をクリックします。



(注)

複数の電話回線で制限のない電話番号が共有され、そのような電話機を更新しようとしている場合は、電話機の外部電話マスクを入力するように求められます。

#### その他の項目

詳細については、[P.52-12](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## Unified CM Auto-Register Phone Tool ログ ファイルの表示

Unified CM Auto-Register Phone Tool ログ ファイルを表示する手順は、次のとおりです。

- 
- ステップ 1** [Bulk Administration] > [TAPS] > [TAPS ログファイルの表示] の順に選択します。
- ステップ 2** [TAPS ログファイルの表示 (View TAPS Log File)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** ログ ファイルの各行に、Unified CM Auto-Register Phone Tool のトランザクションが示されます。
- 

### その他の項目

詳細については、[P.52-12](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool の概要 \(P.52-2\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool のインストール \(P.52-5\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool のアンインストール \(P.52-6\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool サービスのアクティブ化 \(P.52-7\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool の起動 / 停止 / 再起動 \(P.52-8\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool のオプションの設定 \(P.52-8\)](#)
- [電話番号の保護の設定 \(P.52-10\) Unified CM Auto-Register Phone Tool の自動登録オプション \(P.52-2\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool ログ ファイルの表示 \(P.52-12\)](#)
- [Unified CM Auto-Register Phone Tool のユーザ ロケールの設定 \(P.53-2\)](#)
- [エンド ユーザ用の Unified CM Auto-Register Phone Tool 情報 \(P.53-3\)](#)